



令和元年9月30日 発行

学校だより 10月 第349号

横浜市立六つ川西小学校 (TEL) 742-6301 (FAX) 743-2394

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawanishi/index.html>

「ONE Team (ワンチーム)」

学校長 小倉 睦

9月9日関東地方を襲った台風15号におきまして、千葉県の長期間の停電など、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

本校におきましても、台風による被害は小さくなく、体育館前の特大物置が傾いて使用不能になる、卒業記念の桜の木が折れる、校舎の基礎の鉄骨部分がむき出しになる等々、多方面にわたり、いろいろな被害がありました。ご家庭、地域でも同様の被害があったことも伺っております。六つ川地域を含む被災地の一日も早い復旧と復興を心よりお祈り申し上げます。

残暑、台風の猛威などが続いた9月でしたが、ようやく朝夕の涼しさや草むらにすだく虫たちの声に秋の到来を感じるようになりました。

六つ川西小学校でも、秋の大きな行事である運動会に向けていろいろなことがスタートしました。学年演技、低・中・高学年競技、4色対抗リレー、六つ西応援団の練習風景を見ていると、昨年の運動会における六つ西の子のすばらしさを思い出しました。それは、演技・競技に最後まで精一杯取り組んでいることはもちろんのこと、声を枯らしての友達への応援、開閉会式での話を聞く態度など、力を余すことなく精いっぱい出し切る子どもたちの姿です。今年もすばらしい六つ西の子どもの姿を保護者の皆様や地域の皆様に見ていただきたいと思います。

さて、9月20日(金)にラグビーワールドカップが始まりました。日本代表の初戦勝利に日本中が盛り上がりました。その開幕戦で3トライを記録し、最優秀選手(プレイヤー・オブ・ザ・マッチ)に選ばれた松島幸太郎は、「みんなでつないで取れた。“ワンチーム”、チームはひとつになって戦っている。」とい

うコメントを繰り返しています。

『“ワンチーム”、チームがひとつになって戦う』この松島選手の言った日本代表チームの合言葉は、運動会での勝利という一つの目標に向けてがんばる六つ川西小の運動会へ向けての取り組みと似ているように思います。1年生から6年生までのいろいろな個性をもつ子どもたちが心をつにして、競争をしたり、友達を応援したり、助け合ったりなど、練習の時から全力でがんばっています。保護者の皆様、ご家族の皆様、地域の皆様“ワンチーム”になってひたむきに取り組む子どもたちに、ぜひ熱い応援を届けていただければと思います。ご協力をよろしくお願いします。

ところで、9月13日の神奈川新聞「照明灯」では、ラグビーについての次のようなコラムがありました。

「～仲間への信頼、相手への敬意も見どころ。ボールに触れずとも役割を黙々とこなし、仲間のトライには本人以上に歓喜する。試合後は相手の健闘をたたえ、同じ仲間だと認める。「ワンフォーオール・オールフォーワン」「ノーサイド」はその証だ。楯円球はどう転がるか分からぬ危うさがある。だからこそ選手は互いを信頼し、個性を認め合い、その強みを生かしながら目標達成に向けて力を合わせ、相手には尊敬の念を持って接する。内にも外にも日本の歩むべき道と重なる～(中略)」

正に現代は、何が起こるか分からない、どんな災害が起こっても不思議ではない、ラグビーボールの楯円球のようにどう転がるか分からない世の中です。そんな世の中だからこそ、一人一人がラグビー精神から学ぶべきことが多くあるように思います。ご家庭でも話題の一つに加えていただければと思います。